

授業づくり研修会

【中学校 国語科】

《部会Ⅰ：説明》

「全国学力・学習状況調査」について

令和7年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
53	54.3	-1.3

番号	徳島(公立)	全国(公立)	比較	無解答率(徳島)
1一【言葉】	34.6	35.2	-0.6	0.2
1二【書く】	81.3	82.5	-1.2	0.2
1三【書く】	62.8	63.3	-0.5	0.5
1四【書く】	31.0	31.0	±0	2.0<記述>
2一【話聞】	39.8	38.1	+1.7	0.4
2二【話聞】	77.2	77.9	-0.7	0.4
2三【話聞】	70.3	73.4	-3.1	0.8
2四【話聞】	21.3	23.2	-1.9	5.5<記述>
3一【読む】	76.7	80.0	-3.3	0.9
3二【読む】	87.4	89.9	-2.5	5.8
3三【言葉】	60.1	61.0	-0.9	1.4
3四【読む】	13.2	17.1	-3.9	35.8<記述>
4一【書く】	62.0	57.3	+4.7	30.1
4二【書く】	26.3	30.1	-3.8	22.5<記述>

令和6年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
57	58.1	-1.1

番号	徳島(公立)	全国(公立)	比較	無解答率(徳島)
1一【話聞】	62.4	63.2	-0.8	0.4
1二【話聞】	67.1	68.5	-1.4	4.1
1三【情報】	44.3	44.0	+0.3	0.6
1四【話聞】	42.0	44.7	-2.7	12.4<記述>
2一【読む】	38.0	36.3	+1.7	0.8
2二【情報】	73.2	75.2	-2.0	0.8
2三【読む】	65.1	64.5	+0.6	0.9
2四【読む】	40.5	42.6	-2.1	13.3<記述>
3一【書く】	79.3	81.4	-2.1	1.0
3二【言葉】	50.3	53.8	-3.5	1.4
3三【言葉】	69.7	68.8	+0.9	9.4
3四【書く】	42.9	49.3	-6.4	20.9<記述>
4一【言葉】	54.6	54.9	-0.3	1.9
4二【読む】	49.5	48.3	+1.2	3.8
4三【我国】	79.2	75.6	+3.6	2.5

令和5年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
68	69.8	-1.8

番号	徳島	全国	比較	無解答率(徳島)
1一	86.0	87.5	-1.5	0.1
1二	67.3	65.1	+2.2	0.1
1三	77.5	76.6	+0.9	0.3
1四	78.8	82.5	-3.7	15.2
2一	90.1	91.1	-1.0	0.2
2二	61.9	63.0	-1.1	0.6
2三	72.0	74.2	-2.2	0.5
2四	63.9	67.5	-3.6	5.9
3一	52.0	54.3	-2.3	1.3
3二	43.1	43.9	-0.8	11.5
3三	56.8	61.8	-5.0	3.4
3四	66.5	72.1	-5.6	14.5
4一	89.0	82.5	+6.5	3.9
4二	72.4	74.1	-1.7	5.8
4三	43.3	50.0	-6.7	27.2

令和7年度 全国学力・学習状況調査 中学校国語結果

徳島	全国	比較
53	54.3	-1.3

令和6年度 全国学力・学習状況調査 中学校国語結果

徳島	全国	比較
57	58.1	-1.1

令和5年度 全国学力・学習状況調査 中学校国語結果

徳島	全国	比較
68	69.8	-1.8

今年度の課題等〔知識及び技能〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 []内の記号は、問題番号

〔言葉の特徴や使い方に関する事項〕

・「知識及び技能」については2問しかなかった

〔1一〕「カインの出来」の適切な漢字を選ぶ問題

①会心 ②改心 ③改新

【徳島…34.6%】 ※全国比－0.6%

〔3三〕「しきりと」の意味を選ぶ問題

①寂しげに ②改めて ③何度も ④注意深く

【徳島…60.1%】 ※全国比－0.9%

今年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 []内の記号は、問題番号

〔話すこと・聞くこと〕

◇ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することはできている。

〔2二〕《選択式》【徳島…77.2%】 ※全国比－0.7%

◇◆ 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することに課題が見られた。

〔2三〕《選択式》【徳島…70.3%】 ※全国比－3.1%

〔2四〕《記述式》【徳島…21.3%】 ※全国比－1.9%

- 四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [] の内容をより分かりやすく伝えるために、〈スライド⑤〉を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでの中から1つ選び（どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません。）、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。
- なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【村田さんのスピーチ】の []

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

〈スライド⑤〉

「つなごうマリープロジェクト」



〔工夫の仕方〕

- A 〈スライド⑤〉に、言葉を加える。
- B 〈スライド⑤〉のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBとを組み合わせる。

条件1 選んだ〔工夫の仕方〕について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、 の内容を具体的に取り上げて書くこと。

ここができていない者が2割程度いる↑

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。


〔工夫の仕方〕

A	B	C
---	---	---

 ← 選んだ〔工夫の仕方〕の記号を塗りつぶしなさい。

2 スピーチをする(活動のアイデアを発表する) 設問四

(正答の条件)

- ① [工夫の仕方]のA、B、Cのいずれか一つを選んで、その記号を塗り潰している。
- ② 選んだ[工夫の仕方]について、どのように工夫するかを具体的に書いている。
- ③ 工夫することで、どのように分かりやすくなるかを書いている。
- ④ ③について、の内容を適切に取り上げて書いている。

〔解答類型1〕 ①○ ②○ ③○ ④○ (23.4% 正答)

〈例〉

▪ A

スライドの下の余白に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加える。そうすることで、花を育てる楽しみが地域にも広がることが強調されて伝わりやすくなる。

▪ B

地域の人たちと中学生が、笑顔でマリーゴールドの手入れをしているイラストに変更すると、「学校と地域が、マリーゴールドでつながった」ときの様子が、視覚的にもよく伝わると思います。

▪ C

中学生が地域の方に種を手渡しているイラストに修正して、その下に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加えると、残った種を活用した活動で花を育てる楽しみを広げようとしていることが、より分かりやすくなると思うよ。

今年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 []内の記号は、問題番号

〔書くこと〕

◆◇ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。 ⇒ **推 敲**

〔4二〕《記述式》【徳島…26.3%】

※全国比－3.8%

〔4一〕《短答式》【徳島…62.0%】

※全国比＋4.7%

◆ 以前から、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことについては、課題があった。

〔1四〕《記述式》【徳島…31.0%】

※全国比±0%

【ちらし】(更新版②)

第一中学校 美術展



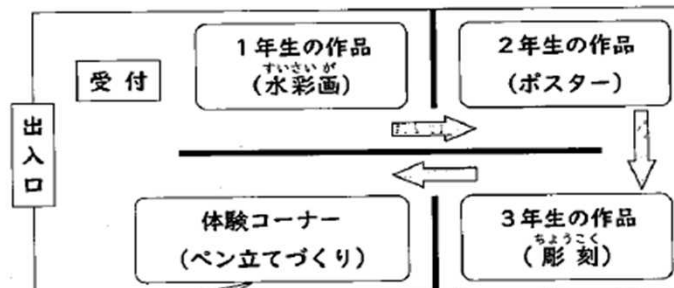
毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日 時 令和7年11月15日(土) 10時～16時

場 所 第一中学校 体育館

会場図



体験できる時間(各回30分間)

①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校6年生のみなさんへ

四 今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】(更新版②)の の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び(どちらを選んでもかまいません)、それと結び付く小学生の【感想の一部】をAからウまでの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。
解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのかが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【工夫】

【感想の一部】

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

← 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶしなさい。

第一小学校6年生のみなさんへ

1 案内文を書く(美術展のちらし) 設問四

(正答の条件)

- ① 【工夫】のいずれか一方と、【感想の一部】のいずれか一つを選んで、選んだ記号を塗り潰している。
- ② 選んだ【工夫】に結び付く【感想の一部】を選んでいる。
- ③ 選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書いている。
- ④ 接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書いている。

〔解答類型1〕 ①○ ②○ ③○ ④○ (31.2% 正答)

〈例〉

▪ A、ア

昨年の来場者から、どうやって作品をつくったのか知りたくなったという感想をもらいました。そこで、今年は中学生が作品について説明します。気になる作品があったら、ぜひ中学生に質問してください。

▪ B、ウ

今年は、ペン立てづくりの体験コーナーを設けています。これは、昨年の参加者から、つくってみたいという感想をもらったからです。みなさんの参加をお待ちしています。

今年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 []内の記号は、問題番号

〔読むこと〕

- ◆ 表現の効果について、**根拠を明確にして考えること**や、文章の構成や展開について、**根拠を明確にして考えること**に課題がある。

〔3一〕《選択式》【徳島…76.7%】 ***全国比－3.3%**

〔3四〕《記述式》【徳島…13.2%】 ***全国比－3.9%→最大差**

↑ 今回の問題で、唯一正答率が20%を下回った問題

3 文学的な文章を読む(「二人の兄弟」) 設問四

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

▼「第1学年」思考力、判断力、表現力等 C 読むこと
Ⅰ《精査・解釈》

四 で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のもとに続く話が書かれています。あとに続く話は、「一 榎木の実」にはありますが、「二 釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。

(正答の条件)

- ① どのような効果があるかを書いている。
- ② ①のように考えた理由を、「 」の部分のような「あとに続く話」が、『一 榎木の実』にはあるが、『二 釣の話』にはない」という展開を踏まえて書いている。
- ③ ②について、物語の内容を適切に取り上げて書いている。

無解答率
27・7%

徳島県
35.8%

3 文学的な文章を読む(「二人の兄弟」) 設問四

〔解答類型1〕 ①○ ②○ ③○ (17・4% 正答)

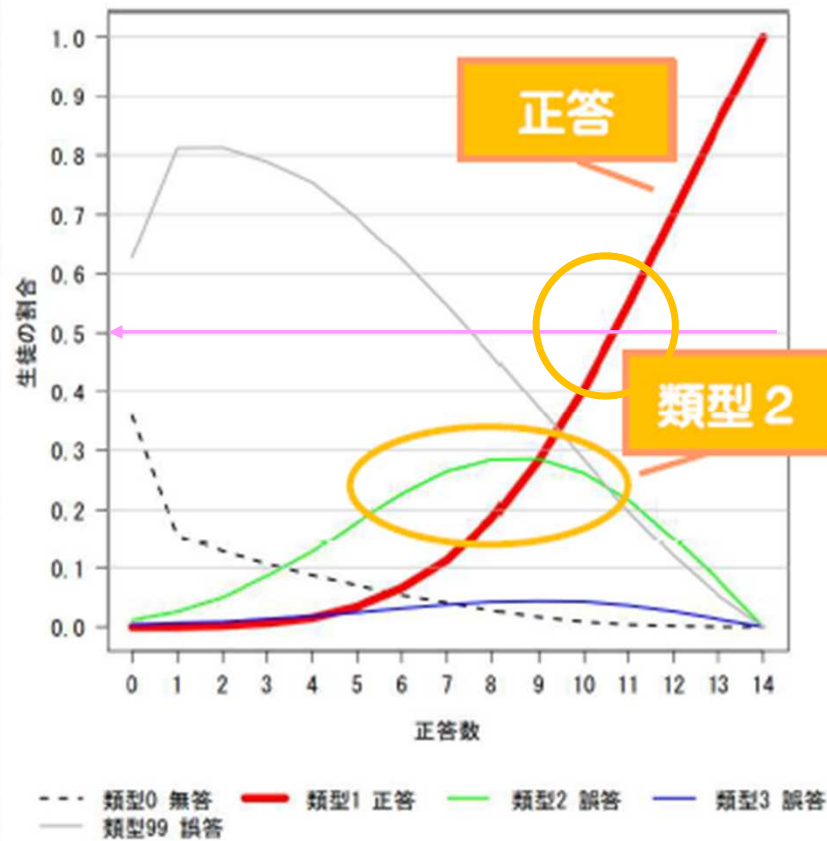
〈例〉

・ 読者の意表を突く効果がある。なぜなら、「一 榎木の実」には、失敗した兄弟が、お爺さんのおかげで成功する場面が書かれているため、「二 釣の話」も同じような展開になると予想して読み進める読者が多いと思うからだ。

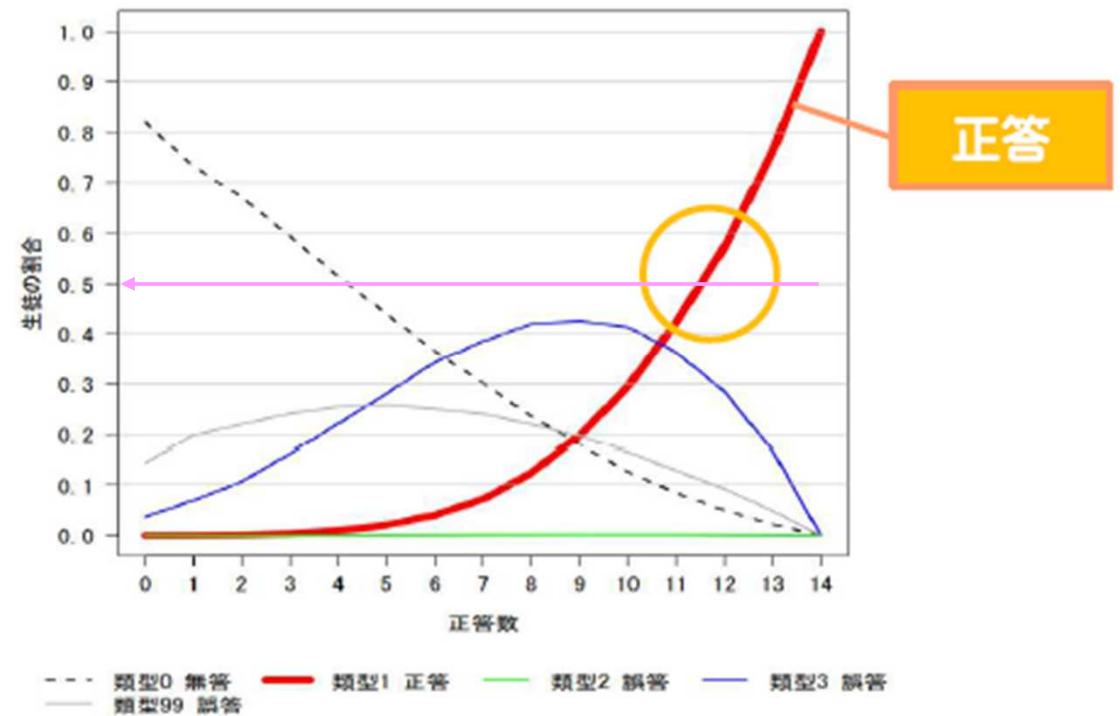
・ 気長な兄と気の短い弟は、「一 榎木の実」では、失敗したあとお爺さんのおかげで成功するが、「二 釣の話」で、また同じ原因で失敗する。このような展開によつて、人の性格はなかなか変わらないということが強調されている。

・ 読者に物語の続きを想像させる効果がある。なぜなら、「一 榎木の実」では、お爺さんの教えによつて、二人は好い実を拾うことができたが、「二 釣の話」では、魚は釣れず、お爺さんに失敗の原因を指摘されただけで話が終わっている。その後、二人が目的を達成できたのかどうか気になるからだ。

2四 正答数別類型割合グラフ



3四 正答数別類型割合グラフ



↑正答率11・12問以上の生徒で、正答率が約5割以上になる↑

令和6年度からは、

すべての教科等にわたる
「徳島版読解力」を活かした
学力向上のポイント

の活用にお取り組み
いただいております

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様で複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

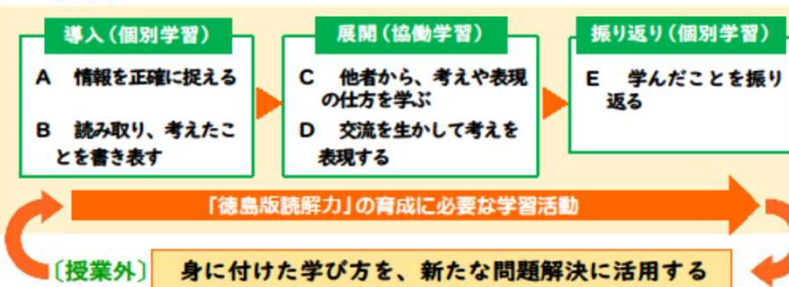


「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面〔A～E〕において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し



徳島県教育委員会

中学校学習指導要領 総則編

(1) 学習の基盤となる資質・能力 (第1章第2の2の(1))

(1) 各学校においては、生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

本項は、生徒の日々の学習や生涯にわたる学びの基盤となる資質・能力を、生徒の発達段階を考慮し、それぞれの教科等の役割を明確にしながら、教科等横断的な視点で育んでいくことができるよう、教育課程の編成を図ることを示している。学習の基盤となる資質・能力として、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を挙げている。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力 3二 4一

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力 1二 2三

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力 2四 3四

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力 1三 4二

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力 1四 2一

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

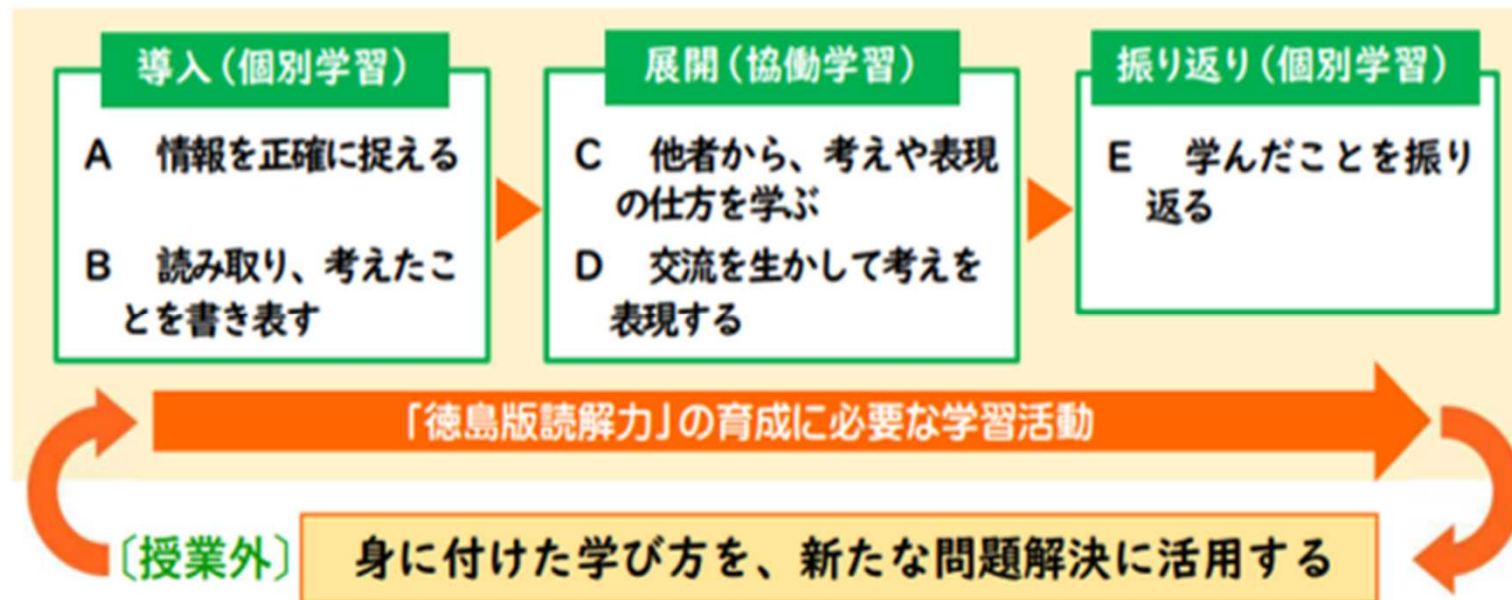


「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面〔A～E〕において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し



5つの力、A～Eの活動の土台となるのが、「主体的に学習に取り組む態度」である。

自己調整力

学 習 場 面		学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例			
授 業	導 入 (個 別 学 習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。 ○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。 ○心に残る表現や大事だと思うところを探す。 ○全体をいくつかの部分(問題、例、データ、まとめなど)に分けたり、事実と考えを区別したりする。 ○語句と語句、情報相互の関係を見付けて、整理する。 ○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。 ○問題の解決につながりそうな部分を見付ける。	1・4 1 1 2 3・4 1・2 3 2	【音読、黙読、視写、聴写】 【傍線や下線を引く】 【丸や四角で囲む】 【線でつなぐ】 【図、表、思考ツール】 【辞典、事典】	【インターネット】		
		B 読み取り、考えたことを書き表す	○思いついたことを書き留める。 ○箇条書きにしたり見出しを付けていたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。 ○書き留めたことを見返し、付け足したり、削ったりして、推敲する。	1・2 3・5 4・5	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】		
		展 開 (協 働 学 習)	C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。 ○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や回答をする。 ○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。 ○他者と協力して問題を解決する。	1 2 3 4 5	【相互評価、コメント】 【話し合い、討論(ペア・グループ・クラス)、スピーチ】 【ポスターセッション】 【質問、回答】 【図、表、思考ツール】	【チャット】 【学習支援クラウドアプリ】	
			D 交流を生かして考えを表現する	○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を書き留める。 ○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。 ○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。	1・2 4・5 2・3	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】	
			(個 別 学 習)	E 学んだことを振り返る	○多様な考えや情報を比較したり、関連付けたりして、自分の考えを見直し、表現する。 ○学習活動の達成感だけでなく、学んだことや考えたことも記録に残す。 ○新たに生じた疑問や、次に向けての目標を書き留める。 ○個々の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。	3・4 5 2・4 3・5 4・5	【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】 【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】	【メモ・付箋機能】 【画像、動画】 【学習支援クラウドアプリ】
				授 業 外	身に付けた学習方法を、新たな問題解決に活用する	○興味・関心のあることや、予習・復習で芽生えた疑問に関係する情報を集める。 ○読書や会話を通して、生活の中で出会う様々な問題に関心をもち、語彙力を高める。 ○集めた情報を読んだり、心に留まったことを記録したりする。 ○学習したツール等を使って、多様なメディアに触れ、見たり、読んだり、聞いたり、表現したりする。	1・3 4 1 2・3 2・5	【書籍】 【家族や友達などの他者】 【書籍】 【会話】 【自主学習ノート】 【書籍】 【新聞】

〔知識及び技能〕の課題と指導改善のポイント

文脈に即して漢字を正しく使うことに課題がある。



全国学力・学習状況調査 説明会
【中学校 国語】資料より

字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を正しく使うように指導することが大切。

各学年の語彙の指導事項の内容と関連付け、音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意するなどして、漢字を正しく使うことができるよう指導することが大切。

語彙指導について

「令和7年度中学校各教科等担当指導主事
連絡・研究協議会（国語部会）〈R7.6〉における
文部科学省教科調査官説明資料」より一部抜粋

語彙指導の内容

①語彙指導の改善・充実

中央教育審議会答申において、「小学校低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある」と指摘されているように、語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である。このため、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図っている。

「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編」(以下、「解説」)p.8

語彙指導の内容

語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。具体的には、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語感を磨き、語彙の質を高めることである。このことを踏まえ、各学年において、指導の重点となる語句のまとまりを示すとともに、語句への理解を深める指導事項を系統化して示した。

語彙指導の内容

各学年の指導事項は、重点を置くべき指導内容を明確にし、系統化を図っている。

学年	語句のまとめり	語句への理解
1	・事象や行為、心情を表す語句	・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意
2	・抽象的な概念を表す語句	・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解
3	・理解したり表現したりするために必要な語句	・慣用句や四字熟語などについて理解を深め ・和語、漢語、外来語などを使い分ける

語句の量を増すこと



語句についての理解を深めること

語感を磨き語彙を豊かにする

語句についての理解を深めること

学年	語句への理解	「解説」での主な説明
第1学年	・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意	・本などを読んで新しく出合った言葉を取り上げ、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を考える習慣を付けることなどが考えられる。(p.43)
第2学年	・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語や対義語などについては、小学校第5学年及び第6学年の才の「語句と語句との関係」においても扱われている。そのことを踏まえ、学習してきた語句について、それぞれの意味を類義関係や対義関係から改めて理解することも大切である。(p.77) ・(同音異義語) 書き言葉ではそれぞれの識別も難しくはないが、話し言葉の場合は意味内容の伝達に混乱が生じやすいので、常に注意する必要がある。(p.77) ・(多義的な意味を表す語句) 文脈に沿って、その語句の意味を吟味することが重要である。(p.77)
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句や四字熟語などについて理解を深め ・和語、漢語、外来語などを使い分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句に関する知識を一層広げ、話や文章の中で使うことを通して身に付けることを求めている。(p.105) ・話や文章で表現する際に、機を捉えて和語、漢語、外来語の使い分けを考えるなどして、微かな言葉の違いについて知り、語感を磨くことが重要である。(p.105)

語感を磨き語彙を豊かにすること

学年	〔知識及び技能〕(1)に示す「語彙」に関する指導事項		
1	ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うこと	を通して	<div data-bbox="1550 746 2002 1059" data-label="Text"> <p>語感を磨き 語彙を豊かに すること</p> </div>
2	エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うこと		
3	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けること		

語感を磨き語彙を豊かにすること

語感には、言葉の正しさや美しさだけではなく、その言葉が使われる際に適切であるかどうかを感じ取る感覚も含まれている。

「解説」p.43

指導の重点となる「語句のまとまり」に関する語句に着目させるなどして、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の指導と関連付けながら指導することが重要

継続的な指導を意識した授業づくり(語彙 第1学年)

〔知識及び技能〕 の指導事項	〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項		
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
(例)語彙	(例)表現、共有	(例)推敲	(例)構造と内容の把握
(例)情報の整理	(例)考えの形成	(例)構成の検討	(例)精読・解釈
(例)読書	(例)表現、共有	(例)考えの形成	(例)精読・解釈

例えば・・・

「聞いて分かりにくい語句」に注意し、「聞いて分かりやすい語句」に変える学習。

例えば・・・

事象や行為を表す語句に注目し、より適切な語句を選択する学習。

例えば・・・

心情を表す語句に着目して、様々な人物の心情の変化を捉える学習。

事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

「令和3年度各教科等教育課程研究協議会【中学校国語】」配布資料より一部抜粋

語感を磨き語彙を豊かにすること

語彙とは、ある言語体系の中で用いられる語句のまとまりのことである。例えば、「人間活動を表す語彙」といえば、人間が身体や精神あるいは言語などによって行う様々な活動を表す語句の全体を意味する。そのうち、要望や要求に関する語彙を例に取れば、「要請」、「請求」、「所望」、「懇願」などの語句を理解するとともに、相互の意味の違いによって使い分けることができるようになることが求められる。これらの漢語名詞は「する」を付けて動詞としても働くことや、「求める」、「訴える」などの和語や、「アピール(する)」、「クレーム」などの外来語、「申し入れる」、「押し倒す」のような複合語、「情に訴える」、「後生だから」といった慣用句など、様々な種類の語句と関連付けて習得させる必要がある。このような語句相互の関連性のことを語彙の構造という。

「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説国語編」p.75

指導と評価の工夫

中学校学習指導要領 第2章 第1節 国語

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2(1) [知識及び技能]に示す事項については、次のとおり取り扱うこと。

ア 日常の言語活動を振り返ることなどを通して、生徒が、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるように指導を工夫すること。

[知識及び技能]に示す事項は、個別の事実的な知識や、一定の手順や段階を追って身に付く技能のみを指すものではないため、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面において、生きて働く「知識及び技能」として習得することが求められる。

そのため、指導に当たっては、生徒が、日常の言語活動の中にある言葉の特徴やきまりなどに気付くことや、学習したことを日常の話したり聞いたり書いたり読んだりする場面に生かすことを意識しながら学習できるようにすることが重要である。

理解語彙⇒使用語彙

「解説」p.138

辞書等の活用

語句の意味を調べたり、語句と語句との関係を考えたりする場合

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 (1)イ 理解したり表現したりするために必要な文字や語句については、辞書や事典を利用して調べる活動を取り入れるなど、調べる習慣が身に付くようにすること。

国語で正確に理解し適切に表現するためには、知らなかったり不確かだったりする文字や語句の意味や使い方について、国語辞典や漢字辞典、百科事典などを利用して調べることが重要である。

また、そうした習慣を身に付けるために、辞書や事典の使い方を理解するとともに、必要な時にはいつでも辞書や事典が手元にあり使えるような言語環境を整えておくことも重要である。

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編」p.162、163

※6年間を通じて、児童の発達や学習の状況に応じて調べる活動を取り入れ、調べる習慣が身に付くよう、内容の取扱いとして示している。

辞書等の活用

中学校学習指導要領 第2章 第1節 国語

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2(2) 第2の内容の指導に当たっては、生徒がコンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。

コンピュータや情報通信ネットワークの活用について示している。情報化社会の進展を見据え、国語科の学習においても、情報収集や情報発信の手段として、インターネットや電子辞書等の活用、コンピュータによる発表資料の作成やプロジェクターによる提示など、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する機会を設けることが重要である。

「解説」p.140

● ポイント

必要なときには、いつでも、生徒が辞書等を使って語彙の学習を深めることができるような言語環境を整えているか。

「語彙」の事項だけを取り上げた指導

「語彙」の事項だけを取り上げて指導する場合

指導の効果を高めるため、生徒の興味・関心や学習の必要に応じ、ある程度まとまった「語彙」の「知識及び技能」を習得できるような学習を工夫

例えば……

- ・生徒の興味・関心に応じたテーマを設定し、そのテーマに関する語句を、辞書や本などを活用しながら収集して分類・整理するなどの学習
- ・〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項を通して指導した複数の単元での学習を振り返り、語句の意味や使い方に対する認識を深める学習

など

● ポ イ ン ト

個別の語句の意味、個別の語句の使い方など、個別の知識の集積で終わるのではなく、それらを関連付け、「語句のまとまり」としての「語彙」に関する概念的な理解を深められるように指導しているか。